

臨床研究へのご協力をお願い

## 「全国肺癌登録調査：2010年肺癌手術症例に対する登録研究」

原発性肺癌の悪性度は高く、本邦における死因の第一位であり、日本国民の健康福祉の向上のために治療成績の向上が求められています。

原発性肺癌の治療には、外科治療、抗癌化学療法、放射線療法がありますが、根治のためには外科治療が必要です。外科治療の成績向上のためには、大規模なデータベースによる治療成績の把握により、外科治療の適応、適切な術式の決定が行われる必要があります。

肺癌登録合同委員会は、日本肺癌学会、日本呼吸器学会、日本呼吸器外科学会、日本呼吸器内視鏡学会の4学会が合同で運営され1998年以来これまでに5回の症例登録事業を行い、学会および学術論文として報告し、肺癌治療に貢献してきました。また、当事業の症例データベースは世界肺癌学会のデータベースにも供与され、国際対癌連合(Union for International Cancer Control 略してUICC)によるTNM分類の改訂にも大いに貢献しています。

本研究の目的は、2010年の原発性肺癌外科治療症例の統計および調査を行うことにより、肺癌に関する研究ならびに診療の進歩・普及を図ることです。

本研究では、2010年1月1日から2010年12月31日のあいだに原発性肺癌に対する治療目的で行った手術のうち以下を除くすべての症例を対象に登録を行います。

・除外基準

- ① ・リンパ節生検・胸膜生検などの臨床病期決定のための手術
- ② ・経気管支鏡による腫瘍切除
- ③ ・ラジオ波やその他の技術による肺癌切除を伴わない局部療法
- ④ ・原発性気管癌に対する手術

本研究は、日常診療で得られた臨床データを調査する研究であり、これにより患者様に新たな検査や費用の負担が生じることはありません。また、研究に扱う情報は個人情報と切り離して、個人が特定されない形で、厳重に扱います。

皆様の貴重な臨床データを使用させていただくことにご理解とご協力をお願いいたします。

本研究に関する研究計画書および研究の方法に関する資料を入手または閲覧されたい場合、もしくはご自身のデータを研究に使わないでほしいと希望される方は、下記の連絡先までご連絡ください。

連絡先：〒646-0015 和歌山県田辺市たきない町 27-1

国立病院機構 南和歌山医療センター

研究責任者：統括診療部長 木下 貴裕

☎0739-26-7050(代表)